



日 時:平成 21 年7月4日(土)
場 所:東海大学代々木校舎 4403教室
時 間:14:00~16:30
参 加 者:木村, 吉田, 砂子, 海津, 小林(三), 吉田(公), 橋本, 山田, 佐藤
オブザーバー:高橋(圭), 佐藤(貴) 以上, 11名
議 事 進 行:橋本泰三郎

会に先立ち, 司会者より放研OBの物故者全員に対し, 役員会にて1分間の黙祷を実施した。

— — — 放研OBの全物故者に対し黙祷 — — —

議題

1. 総会会場について(報告事項)

教室変更:4403 教室の予定だったが, 今年から(?)空調が入らない関係で, 第 1 会議室になった。
会議室は独自で空調があるのでそこを使ってもらえないか?とのこと
この点は何度か交渉したが, 上記のような返答であった。

上記は佐藤より報告がなされ, 役員の了承を得たが, 引き続き佐藤が学校と交渉する。

今回の講演は PC を使用するため, その環境としては会議室より教室のほうが最適であるため継続して交渉することになった。

2. 懇親会会場について(審議事項)

現状では前回開催した DINING OUT 53(今年使うと 3 回同じ場所となる)が候補としてあるがそのほかの会場として中村屋5Fが候補として考えられるが, どうするか? 中村屋の場合は@5,250 かかる。
二次会を4Fで開催できるので移動に時間はかからない。

懇親会場は今年も昨年同様, DINING OUT 53 が一番いいのではないかという意見が多かった。

提案の中村屋の場合, 懇親会場と二次会会場が同一場所で階が違うだけというのは新鮮味がないなどの意見で, 昨年と同一場所で行うことが最適。一つの理由は, 会場から見える副都心の光景が素晴らしいことが最大のよさである。また, 全員が着席できるのがよい。

なお, この決定, その他については砂子, 佐藤の判断に任せることで承認された。

3. 会則改訂について(審議事項)

第5条3項 特別会員 現顧問および旧顧問。を
放送研究部の現顧問および旧顧問 とする。

上記の変更については、OB会として今後「顧問」あるいはそのほかの会員(役員以外も含む)が選定されることが予測される。現行の現顧問、旧顧問は放送研究部のことであり、OB会と区別する必要があると判断した。

なお、この提案は承認された。

4. 役員改選について(副会長は会員の中で若い世代を候補として考える)(審議事項)

新役員候補者名:今宮克身,
退任役員候補者名:(副会長)砂子昭彦,

上記提案に対し、両者は承認された。なお、新副会長として山田君が推薦され承認された。
なお、新幹事として新しい年代の佐藤貴仁君(年卒)が推薦され、満場一致で承認された。

5. メーリングリストにおける返信について(確認事項)

今後、若いOBの役員が引き継いだ時のことを考えて、出欠並びに賛否を問う問いかけに対し、必ずその返事をメールにて返信する。このことをルール化する。

(理由)今までは古い年代のOBが中心となって運営してきた関係で、想像や予測が付き特に支障はなかったが、若い世代に移行していくとそのような判断はできないため役員が困る事態が予測できる。従って、運営を円滑に行うためにも上記を徹底したい。

上記内容は佐藤(一)より最近、メーリングリスト等で連絡した場合、返信がないと担当役員が大変困るので、皆で協力して徹底することの確認を行った。特にメールは用件のみでいいのでその特性を生かして気楽に考えればよい。

6. その他

(1)OB 会員増員の方法として次の意見が出た。

- ・現役の部費に200円追加して徴収し、卒業時に全員OB会会員となる。ただし、これは強制するのではなく、辞退するものについてはその折に積立金は返金する。この意見に対しては全員賛同した。
- ・上記意見について、この点は顧問も含めて相談する必要があるとの意見もあり、今後その話し合いを持ちたいとの意見があった。

(2)OB 会活性化のために

- OB 会活性化のための一つの方法として役員会, 総会などを東京以外の場所で開催することも考えていいのではないかと思う。そのことで, お互いのつながりを改めて確かめあうことができる。また, その場合は企画はこちらで行い, そこへ参加するという形で考える。このようなことが会を盛り上げる一つの方法と考える。
- 現段階での提案としては, 例えばラスベガス(ここには放研 OB の大喜多氏がいることもあって….)で役員会等を開催することも考えられる。もちろん, この場合は有志で参加することになると思う。

以 上